

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

1、施設名： グループホームアウル 登別館

2、施設種類： グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設（該当するものに ）

3、日 時： 平成20年 4月 15日（火） 18時00分～21時00分

4、会 場： 若草つどいセンター 会議室

5、出席者：

区 分	人 数	区 分	人 数
利用者代表	0名	有識者	0名
利用者の家族	4名	市役所職員	0名
地域住民の代表	0名	事業所職員	11名
その他職員	0名		

6、議 題

今回は普通救命講習を兼ねて、心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の手順と呼称、蘇生人形を使つての実技を行いました。

7、報告事項

8、会議の内容・・・評価、要望、意見、助言等

基礎知識では「119番通報してから平均何分で到着するのか」「呼吸停止後の人工口吸心肺蘇生が正確に、またいかに早く行われるかにより蘇生の割合が高くなるか」「遅ければ遅いほど死亡率が高くなるか」を学び、実技では正確な心臓の位置の調べ方、呼吸をしているかの判断、気道確保の方法、心肺蘇生法、AEDの安全な使用方法を学びました。（実技手順資料別紙添付）

今回の講習で早期除細動の重要性が理解でき、また出席されたご家族からも「深夜や山

中で周りに人もいなく携帯も繋がらない場所ではどうしたらいいのか」「口や鼻、胸部に外傷があって出血が止まらない場合の心肺蘇生法はどうしたらいいのか」「雨降りや浴室でのAEDの使用方法」「もっと沢山の場所にAEDを設置してほしい」といろいろな意見や質問、要望もあり講習終了後には「以前よりこのような講習を受講しなかったので参加できて本当によかった」などの感想をいただき有意義な時間を過ごす事が出来ました。

次回は、地域の代表や町内の方々、沢山のご家族が参加していただけるよう声をかけていくと同時に、日程の調整等を行いながら進めていきたいと思ひます。